発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 山 口 忠 志

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1	<p>令和7年度当初予算について</p> <p>令和7年度当初予算は一般会計で417億2,700万円と近年まれに見る金額であり、昨年度と比較し歳入歳出とも大きくなっているが、その要因を示せ。</p> <p>予算編成にあたり、年々状況が厳しくなり予算編成当局は苦慮されたと思うが、当初予算に計上せずに先送りした事業はあるのか。</p> <p>令和6年度もそうであったが、令和7年度に繰越を行う事業があまりにも多い。令和6年能登半島地震、資材高騰等の影響が大きいと考えるが、当初予算に計上した事業を含めると職員の負担が大きくなるのではないか。今後は繰越を見越した予算編成を行うべきだと考えるが、所見を問う。</p>	
2	<p>加賀市総合計画について</p> <p>令和6年6月定例会において、「フレキシブル行政運営を行ううえで必須ではない総合計画が足かせになっているのではないか、今後策定すべきではない」と提案した。第2次加賀市総合計画は令和6年度までで中期実施計画が終期を迎え、計画期間は残り2年となるが、その後はどうするつもりなのか。</p>	
3	<p>公共施設マネジメントについて</p> <p>公共施設マネジメントは、計画に沿ってという答弁をこれまで幾度となく聞いてきたが、施設の老朽化、管理費の異常な高騰、人口動態の変化等、様々な要因において喫緊の課題である。特に類似施設の統廃合は優先的に進めるべきである。</p> <p>具体的に、図書館、保育園、小学校はどうするのか。</p> <p>また、統廃合ではないが、展観施設も観光には重要ではあるものの、利用率の低い施設については廃止や機能転換を図るべきと考えるが、見解を問う。</p>	
4	<p>公共交通について</p> <p>公共交通に関しては、全国の自治体が苦勞している。</p> <p>加賀市においては、先進的な技術を活用し様々な工夫がされている。まだまだ市民浸透度は低いかもしれないが、当局の努力は評価する。来年度は乗合タクシーで顔認証を活用した定期券の実証も行うようである。また、今定例会にも上程されており、先日記者会見も行ったライドシェアにおける貨客混載事業は画期的な取組である。これらの取組を含めて、今後、公共交通をどのように展開していくのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 山 口 忠 志

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
5	<p>島谷教育長について</p> <p>島谷教育長は、今年度末をもって任期満了を迎える。在任期間においては、加賀市の教育改革を積極的に行い、大きく注目される実績を上げられてきたと評価している。これまでの取組を振り返り、ご自身をどのように評価しているのか。また加賀市をどのように感じていたか。さらに、今後の加賀市に期待することも併せて尋ねる。</p>	
6	<p>未来型商業エリアについて</p> <p>令和 11 年春の開業目標に向けて、インフラ整備や許認可手続きを進めているとのことであるが、具体的な施設概要やスケジュール等はいつ示されるのか。開業目標時期からすれば、すでに示されねばならないと考えるが、所見を問う。</p>	
7	<p>産業団地について</p> <p>片山津 I C 産業団地と高尾町地内の「次世代型産業パーク」整備の提案がなされた。「次世代型産業パーク」とは何か。片山津 I C 産業団地との違いを示せ。</p>	
8	<p>ライフデザイン推進事業の居住支援事業について</p> <p>国の居住支援協議会等活動支援事業費補助金、先導的官民連携支援事業交付金という、これまで聞いたことのない補助金を活用する協議会を設立し、モデル地区を選定することは理解するが、具体的にどのようにしていくのか。</p>	
9	<p>加賀市 20 周年記念事業について</p> <p>旧加賀市と旧山中町が合併して、新加賀市が誕生して 20 年の節目を迎える。同じく平成の大合併をした能美市と白山市では、盛大な記念式典等を行っているが、本市としてはどのように考えているか。</p>	
10	<p>ふるさと納税について</p> <p>令和 7 年度ふるさと納税の歳入をどの程度見込んでいるのか。またその戦略の特色は何か。</p>	
11	<p>柴山潟について</p> <p>柴山潟の環境・景観も含め最大限活用することが、観光面においても加賀市として何より重要と考える。改めて次の 3 点について問う。</p> <p>①大規模かつ長期的・継続的しゅんせつ工事の実施予定の有無</p> <p>②柴山潟周遊コースの完成時期</p> <p>③柴山潟周辺整備事業の大胆かつ斬新な設計構想の有無</p>	